



# 飛鳥IIのお客様を バスガイドしました！

こんにちは！地域おこし協力隊のニシカワです。鳥や虫の声がすっかり秋のものになってきましたね。

9月27日に飛鳥IIが浦郷沖に寄港し、800人程のお客様が西ノ島に上陸しました。街歩きガイドと一緒に由良比女神社まで歩いたり、当日臨時運行していたシャトルバスで黒木御所まで行ったりと楽しめましたようです。



摩天崖

当日、ニシカワは赤尾展望所、摩天崖、由良比女神社を巡るバスツアーにガイドとして同行しました。初めてのバスガイドで非常に緊張しましたが、お客様に見守られ、運転手のT田さんにフォローしてもらい、なんとか無事にガイドをやりきることができました！

お天気にも非常に恵まれ、飛鳥IIから降りてきたお客様は水平線がくっきりと見える摩天崖で写真を撮られたり、道をゆく牛馬に感激されていました。「隠岐に3回来ただけ



由良比女神社

今月からニシレポは隔月掲載となります。来月は濱口協力隊員の記事をお楽しみください！



馬々しいブログやっています。  
<http://nishinoshima2.jugem.jp/>

しまねっ先輩に首をしめられて  
オトされたり体張った芸を着実に  
身に着けつつあります

ニシカワ

「こんなに天気が良いのは初めてよ！」というお客様もいらつしやり、大変喜んでくれてニシカワも嬉しくなりました。

今度は10月30日にまた飛鳥IIが来るそうですね！その時も是非素晴らしい天気になって欲しいものです。



イカ寄せの伝説はイラストで説明してみました！



# アラスカ州の豆知識

国際交流員レイチェル



国際交流員レイチェルです。西ノ島町の皆さん、お元気ですか。

私はアメリカのアラスカ州から来ました。今回は私の出身地について紹介したいと思います。

アラスカは非常に寒いところで知られています。実は今年も、9月20日から雪が降り始めました。来年の5月まで冬が続きます。アラスカの冬は長くて寒いのですが、様々な面白い経験ができます。例えば、犬ぞり、オーロラ観察、氷上サーモン釣りです。

オーロラを見たことがありますか？アラスカでは九月から四月までよく見えます。普通の色は緑ですが紫、黄色、ピンク、または青いものも時々出ます。見たことがない人にオーロラを説明するとき「光が踊るよう」とよく言つので、アラスカでは「ザ・ノーザンライツ」というニックネームがあります。オーロラを見るために若い日本人がアラスカ

によく行きます。それは、オーロラは見た人に特別な祝福を与えてくれるかもしれないからです。オーロラの祝福を知っていますか？ノーザンライツの下で出会ったカップルの子どもが幸運に恵まれるという祝福です。



▲オーロラ

次は犬ぞりです。犬ぞりというのはアラスカで一番有名なスポーツです。犬ぞり大会は、3月に10日間行います。参加者はムーシャと言います。ワシラ市からノーム市までの、1,800kmを競います。最後のムーシャがノーム市に着くと大会の終了です。勝者は5万ドル(約500万円)を受け取ります。

最後は氷上サーモン釣りです。西ノ島町の皆さんは釣りが大好きなのですが、氷上サーモン釣りをやったことがありますか？アラスカでは小学校や中学校の校外学習でもやります。氷上サーモン釣りは現代まで続き、アラスカの伝統行事です。

私の出身地はとても寒いけれど、楽しくて、面白いことがいっぱいあります。チャンスがあったら、ぜひ行って下さい！アラスカの冬と一緒に楽しみましょう！



▲氷上サーモン釣り



▲犬ぞりレース

## 募

### 西ノ島ふるさと館での展示写真募集について

西ノ島町では、西ノ島ふるさと館展示リニューアルを計画しています。昔の道具や人々の暮らしなどについて分かりやすい展示を行うために、写真を使った展示パネルを作る予定です。つきましては左記の内容について、写真や写真データを皆様にご提供したいと思っております。訪れる方々に楽しく見ていただけると思われる写真やデータをお持ちでしたら是非ご連絡ください。

役場地域振興課 観光商工係(7) 8131

テーマ	内容
漁	イカ釣り、延縄漁、海藻採り、海苔摘み、イカの見張り小屋、ともど舟(使用されていた当時)
海産物加工	製造された海苔、浦郷メザシ、干し鮑、岩がき養殖の様子
牧畑	田んぼ、作業の様子、牧司と牛
生き物	イカ各種、イカ寄せ現象、収穫した海藻(海苔、わかめなど)
伝統行事・ 伝統文化	祭りの様子、初参りの様子(参拝、直会)、初参りの直会の料理、島前神楽「八重垣」、「舞い児」、十方拝礼(しゅうはいら)、神の相撲、獅子舞(美田八幡宮での奉納時)、庭の舞の禊(みそぎ)の様子、庭の舞(公演、練習風景)、シャーラ船流し(各地区での様子、船、準備の様子)、ヨイサカ
西ノ島の昔の生活	昭和20年代頃の食事風景、昭和20年~30年代頃の生活の様子 長寿村・旧黒木村の様子
西ノ島の人	木村康信氏、山本幡男氏
食べ物	ヤキメシ、こごねめし
西ノ島の風景	春、夏、秋、冬